



UNHCR
The UN Refugee Agency

2008年6月17日

世界の難民、国内避難民数が2年連続増加

6月17日発---世界規模での調査によると、2007年末現在、国外に逃れ、難民となった人の数は1140万人、紛争や迫害によって国内避難民となった人の数は2600万人であり、家を追われたUNHCRの支援対象者が過去最高を記録した。

6月20日の「世界難民の日」に向けて、ロンドン訪問中のグテーレス国連難民高等弁務官は、「2001年から2005年の5年連続で難民の数が減少したにもかかわらず、この2年間で増加していることを憂慮する。我々は現在複雑に絡み合った世界規模の問題に直面しており、将来さらに多くの人々が家を追われる可能性がある。世界中の紛争地で発生している数々の緊急事態、統治における不安要因、乏しい資源をめぐり、紛争が起こる可能性をはらむ気候変動に起因した環境破壊、貧困層を直撃し多くの地域で治安悪化を引き起こしている価格高騰など、問題は多岐にわたっている」と述べた。

150か国以上を対象に実施された統計によると、UNHCRの援助を受けている難民と国内避難民の数は2007年末までに250万人増加し、過去最高の2510万人を記録した。UNHCRが支援対象とする難民の数は2007年末には990万人から1140万人へと増加した。また、国際移動に関するモニタリング・センター(International Displacement Monitoring Center)によれば、紛争によって影響を受け、国内避難民となった人の数は2440万人から2600万人へと増加した。UNHCRが直接、間接的に保護や支援を行う国内避難民の数は現在、2006年の1280万人から1370万人へと増加している。

今回発表された、UNHCRの報告書『グローバル・トレンド(Global Trends)』には無国籍者や庇護希望者、故郷へ帰還した難民、故郷へ帰還した国内避難民、この分類に当てはまらないが、UNHCRの支援対象者となる人々についても分類と分析を行っている。UNHCRの援助対象者は合計で3170万人となるが、この数には国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)の支援対象となる460万人は含まれない。

『グローバル・トレンド』は、国境を越えて紛争や迫害を逃れた難民と、国内にとどまっているが家を追われて国内に逃れた国内避難民を識別している。UNHCRが活動を始めた1951年当初、UNHCRの任務は世界の難民問題の恒久的解決をめざすことに限られていた。しかし過去数十年間、増加を続ける紛争によって発生した国内避難民の支援も、他の国連機関と連携し、活動を拡大している。

『グローバル・トレンド』によれば、主にパキスタンとイランに逃れた約300万人のアフガニスタン難民と、主にシリアとヨルダンに逃れた約200万人のイラク難民の合計は、2007年に世界各地でUNHCRの支援を受けた難民のほぼ半数を占めた。多くの難民が流出した国としては、コロンビア(55万2000人)、スーダン(52万3000人)、ソマリア(45万7000人)が挙げられる。また、2007年に難民の数が増加した背景にはイラク情勢の不安定さが大きな要因とされる。2007年に最も多く難民を受け入れた国はパキスタンであり、シリア、イラン、ドイツそしてヨルダンなどが続いた。

UNHCR 駐日事務所 150-0001 Tel (81 3) 3499 2310
広報室 東京都渋谷区神宮前 Fax (81 3) 3499 2273
5-53-70 http://www.unhcr.or.jp
UN ハウス 6階

UNHCRの支援活動は皆様のご寄附に支えられています。
ご寄附はUNHCRの公式支援窓口である日本UNHCR協会を通じてお願いします。
日本UNHCR協会 Tel (81 3) 3499 2450 Fax (81 3) 3499 2273
http://www.japanforunhcr.org



UNHCR
The UN Refugee Agency

PRELIMINARY RELEASES

『グローバル・トレンド』は国内避難民については、世界 23 か国に合計 1370 万人が UNHCR の支援対象として存在すると概算し、コロンビアに 300 万人(コロンビア憲法裁判所推計)、イラクに 240 万人、コンゴ民主共和国に 130 万人、ウガンダに 120 万人、ソマリアに 100 万人がいるとしている。

イラクでは、宗派間の対立と、包括的な政治的解決の欠如が、国内避難民の 2007 年初めの 180 万人から年末の 240 万人への増加につながったと『グローバル・トレンド』は分析する。その他にも、アフガニスタン、中央アフリカ共和国、チャド、スリランカ、イエメンにて国内避難民の増加や、新たな問題発生が報告されている。

2007 年の 1 年間で、世界 154 か国の政府、あるいは UNHCR 事務所へ庇護を求め、難民申請した数は約 64 万 7200 人にのぼり、2006 年比で 5 パーセント増、過去 4 年間で初めての増加を記録している。『グローバル・トレンド』は増加の理由が主にヨーロッパ諸国へ庇護を求めたイラク難民の多さによるものとしている。国別で見れば、最も多くの庇護希望者を出した国は 5 万 2000 人のイラクであり、4 万 6100 人のソマリア、3 万 6000 人のエリトリア、2 万 3200 人のコロンビア、2 万 1800 人のロシア、2 万 1600 人のエチオピア、2 万 700 人のジンバブエが続く。庇護申請が最も多く提出された国は、アメリカ、南アフリカ、スウェーデン、フランス、イギリス、カナダそしてギリシャである。『グローバル・トレンド』は庇護国間に存在する難民認定率の違いに懸念を表明する一方で、多くの難民は、出身国と同地域にとどまることがほとんどであり、先進国へ庇護を申請することは少ないとする。

難民と国内避難民は増加しているが、『グローバル・トレンド』は悪いニュースばかりではない。

「UNHCR の目標は難民のために恒久的解決を見つけ出すことである。解決方法として、出身国への自発的帰還、庇護国への定着、または第三国定住などがある。2007 年はこれら全ての分野において進展が見られたが、道のりはまだ長い」とグテーレス国連難民高等弁務官は語った。

UNHCR の自発的帰還プログラムにより、37 万 4000 人がアフガニスタンへ、13 万 700 人が南スウェーデンへ、6 万人がコンゴ民主共和国へ、4 万 5400 人がイラクへ、4 万 4400 人がリベリアへ帰還し、合計でおよそ 73 万 1000 人が故郷へ戻る事ができた。また、2007 年には 210 万人の国内避難民も故郷へ帰還した。

第三国定住への事例照会は 2007 年に大きく増加し、UNHCR が受け入れ国へ提出した案件数は過去 15 年最高、そして昨年比 83 パーセント増の 9 万 9000 人であった。しかし、第三国への定住者は、世界の難民数の 1 パーセント以下にとどまっている。2007 年末までに 7 万 5300 人の難民が 14 か国へ第三国定住を果たし、そのうち 4 万 8300 人がアメリカへ、1 万 1200 人がカナダへ、9600 人がオーストラリアへ、1800 人がスウェーデンへ、1100 人がノルウェーへ、740 人がニュージーランドへ受け入れられた。出身国別では、主にミャンマー、ブルンジ、ソマリア、イラク、コンゴ民主共和国、アフガニスタンからの難民が多数を占める。

2007 年は、無国籍者とみなされていた人のうち、およそ 300 万人が減少した年でもあった。ネパールにおける約 260 万人への市民権付与、バングラデッシュにおける市民権付与の結果とされている。しかし、未だ世界には 1200 万人の無国籍者がいると『グローバル・トレンド』は概算しているが、さらなるデータが必要とされている。

2007 年『グローバル・トレンド』全文は www.unhcr.org で入手可能である。

以上

本件に関するお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

UNHCR 駐日事務所
広報室

150-0001
東京都渋谷区神宮前
5-53-70
UN ハウス 6 階

Tel (81 3) 3499 2310
Fax (81 3) 3499 2273
www.unhcr.or.jp

